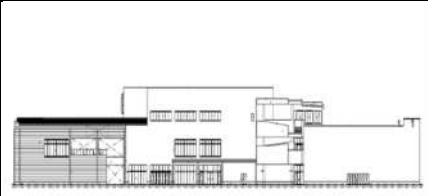


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオンタウン吉川美南 増築工	階数	地上5F
建設地	埼玉県吉川市美南	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	6,852 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,集会所,工場,等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年3月11日
敷地面積	21,276 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社
建築面積	13,899 m ²	確認日	2019年3月11日
延床面積	38,479 m ²	確認者	大和ハウス工業株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	建物内全範囲にLEDの採用。	その他 特になし。
Q1 室内環境	大きな開口部の採用により、多くの日光を取り入れることで光・視環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の周りに植栽を設けており、建物利用者が過ごしやすい環境となっている。
LR1 エネルギー	断熱材・開口部断熱性能向上に配慮することで、建物外皮の熱負荷抑制BPI _m = 0.85を達成し、エネルギー負荷の抑制に努めている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の排出率を83%に抑えられている。
Q2 サービス性能	防汚性の高い仕上げ材の採用や防錆対策を行うなど、維持管理に配慮した設計を採用している。また、外装・内装仕上げ材には更新必要間隔が長いものを採用しており、耐用性に優れている。	
LR2 資源・マテリアル	特になし。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
(仮称)イオンタウン吉川美南 増築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
 評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								2.7	
Q1 室内環境					0.36		-	2.6	
1 音環境				1.9	0.15	-	-	1.9	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				1.3	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.83	3.0	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.17	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音				1.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境				2.6	0.35	-	-	2.6	
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.44	3.0	-		
2 外皮性能				3.0	0.21	3.0	-		
3 ソーン別制御性				3.0	0.35	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.2	0.25	-	-	3.2	
3.1 昼光利用				3.5	0.43	-	-		
1 昼光率		工場(作業室): 4.1%		5.0	0.30	3.0	-		
2 方位別開口				-	-	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.70	3.0	-		
3.2 グレア対策				3.0	0.11	-	-		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度				3.0	0.08	3.0	-		
3.4 照明制御				3.0	0.37	3.0	-		
4 空気質環境				2.5	0.25	-	-	2.5	
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0	-		
4.2 換気				2.1	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.42	3.0	-		
2 自然換気性能				3.0	0.17	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.42	3.0	-		
4.3 運用管理				2.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1	
1 機能性				2.7	0.40	-	-	2.7	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.12	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.12	3.0	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.76	-	-		
1.2 心理性・快適性				2.1	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				3.0	0.30	3.0	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.27	-	-		
3 内装計画				1.0	0.44	-	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.5	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		アスファルト防水:30年、スチール建具:30年、アルミ建具:40年、ガルバリウム鋼板:30年		5.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		タイル貼:65年、塩ビタイル:20年、ビニルクロス貼:20年、長尺シート:12~18年		4.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		・非常用発電設備の設置 ・非常時に備えた予備電源の設置		4.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		

	5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
--	---	---------	--	-----	------	--	---	--

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	平均階高:5.8m	5.0	0.52	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.063	5.0	0.48	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.34	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m = 0.85	4.5	0.13	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.80	3.0	0.55	-	-	3.0
4 効率的運用			2.0	0.22	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.5
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率83%(参照値と同等)	3.6	0.33	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	1)、 1)適切な量の駐車・駐輪スペースを確保している 3)入口を2箇所、出口を3箇所設けることにより渋滞を防ぐ	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			2.0	0.40	-	-	
1	騒音		1.0	0.50	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		3.0	0.50	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート






使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)イオンタウン吉川美南 増築工事	BEE	0.7	BEEランク
------	---------------------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO ₂ の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.6	+	2.0	= 5.6	
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO₂の削減		スコア平均	3.6
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
< 配慮した内容を記述 >			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
< 配慮した内容を記述 >			

: 入力欄